

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
外国語・コミュニケーション英語Ⅱ		4	12	16	2
目標	コミ英語Ⅰを履修した後、基礎的な文法から応用的な表現を学び、より一層コミュニケーション能力を高める態度を育てる。				
評価規準	英語を使って、より円滑なコミュニケーションができるように話す・聞くを重点的に学習する。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	Lesson1	比較表現を使った文章の理解		
	2	比較表現	原級、比較、最上級を学習する		
2	3	Lesson2	関係代名詞whatを使った文章の理解		
	4	関係代名詞 what	関係代名詞whatの用法を学習する		
3	5	Lesson3	現在完了進行形を使った文章の理解		
	6	現在完了進行形	現在完了進行形を学習する		
4	7	Lesson4	間接疑問文を使った文章の理解		
	8	間接疑問文	間接疑問文を学習する		
5	9	Lesson5	分詞を使った文章の理解		
	10	現在分詞・過去分詞	名詞を修飾する現在分詞・過去分詞を学習する		
6	11	Lesson6	不定詞を使った文章の理解		
	12	Reading1	長文読解を学習する		
7	13	Lesson7	if節を使った文章の理解		
	14	If節(名詞の用法)	動詞の目的語としてのif節を学習する		
8	15	Lesson8	関係代名詞を使った文章の理解		
	16	関係代名詞 who、which	コンマ(、)+関係代名詞の用法を学習する		
9	17	Lesson9	関係副詞を使った文章の理解		
	18	関係副詞 when、where	関係副詞を学習する		
10	19	Lesson10	知覚動詞を使った文章の理解		
	20	知覚動詞	知覚動詞を学習する		
11	21	Lesson11	使役動詞を使った文章の理解		
	22	使役動詞	使役動詞を学習する		
12	23	Lesson12・Reading2	分詞構文を使った文章の理解・長文理解		
評価方法	定期試験70%・スクーリング評価10%・レポート20%。レポートは、それぞれ期限内に提出して、合格(ABC)の場合は評価点がつく。正答率80%未満の場合は、不合格(再提出)とする。				

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
<b>外国語・英語会話</b>		<b>2</b>	<b>6</b>	<b>8</b>	<b>3</b>
目標	簡単な英語を聞いたり話したりして英会話でコミュニケーションを図り、会話の楽しさを学習する。挨拶や身近な話題から異文化理解を深める。				
評価規準	会話の基礎から学び、コミュニケーションをとりながら、応用的な英語まで英会話学習に対する興味・関心を高める。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	Nice to Meet You	挨拶と自己紹介の表現を学習する。		
	2	Hello、Friends！	教室での表現を学習する。		
2	3	My Favorite Music	趣味や特技などの表現を学習する。		
	4	What Are You Crazy About?	誘う表現を学習する。		
3	5	A Friendly Potluck Dinner	パーティー開催などの表現を学習する。		
	6	Are You All Right?	体調を崩したときの表現などを学習する。		
4	7	Talking about Our Town	提案の仕方を学習する。		
	8	Traditional Culture	コメントの仕方、感情の表現を学習する。		
5	9	Equal Roles	情報、賞賛、激励の表現を学習する。		
	10	Helping Each Other	誘いやパーティーでの会話の表現を学習する。		
6	11	復習と演習1	税関での会話表現を学習する。		
	12	復習と演習2	文化の違いやマナー方法の表現を学習する。		
	13	復習と演習3	総復習をする。		
評価方法	定期試験70%・スクーリング評価10%・レポート20%。レポートは、それぞれ期限内に提出して、合格(ABC)の場合は評価点がつく。正答率80%未満の場合は、不合格(再提出)とする。				



教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
<b>外国語・英語で話そう</b>		<b>2</b>	<b>6</b>	<b>8</b>	<b>日3・平4</b>
目標	テキストの話題について、CDを使って英語を聞いたり話したりしてALTと積極的に英語でコミュニケーションを図り、会話の楽しさを学習する。				
評価規準	日常会話の基礎を学び、ALTとコミュニケーションをとりながら、英語の学習に対する興味・関心を高める。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	School Life	挨拶と自己紹介の表現を学習する。		
	2	Part-time Job Weekend	余暇の過ごし方の表現を学習する。		
2	3	Movies	招待の仕方、約束の表現を学習する。		
	4	Phone Calls Appointment	電話のかけ方の表現を学習する。		
3	5	TV Programs Weather	賞辞やおせじの表現を学習する。		
	6	Future Plans Jobs	将来の計画や目標の表現を学習する。		
4	7	Music	許可を求め方、提案の仕方を学習する。		
	8	Sports	コメントの仕方、感情の表現を学習する。		
5	9	Study Abroad	情報、賞賛、激励の表現を学習する。		
	10	Parties / Picnic	誘いやパーティでの会話の表現を学習する。		
6	11	Traveling Overseas	税関での会話表現を学習する。		
	12	American and Japanese Cultures	文化の違いやマナー方法の表現を学習する。		
	13	all of lesson review	総復習をする。		
評価方法	定期試験70%・スクーリング評価10%・レポート20%。レポートは、それぞれ期限内に提出して、合格(ABC)の場合は評価点がつく。正答率80%未満の場合は、不合格(再提出)とする。				

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
<b>家庭・家庭総合</b>		<b>4</b>	<b>12</b>	<b>8</b>	<b>1</b>
目 標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する知識を習得させ、生活の充実向上を図る能力と態度を育てる。				
評価規準	家庭や地域の生活について課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、生活を向上する知識を身に付けている。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	家族、家庭を見つめる	家庭の機能について考える。		
2	2	子どもの発育と保育・福祉	子どもの発達と生活、子どもの福祉などを学習する。		
3	3	高齢者の生活と福祉	高齢者の心身の特徴や高齢社会の現状及び福祉について学習する。		
4	4	食生活と栄養・食品①	食生活の課題について学習し、身体の中での栄養素の働きと、日常利用する食品の栄養的な特徴を学習する。		
5	5	食生活と栄養・食品②	食生活の課題について学習し、身体の中での栄養素の働きと、日常利用する食品の栄養的な特徴を学習する。		
6	6	ホームプロジェクト	自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、生活を科学的に探求する方法を身に付ける。		
	7				
7	8	食事と栄養・食品③	身体の中での栄養素の働きと日常利用する食品の栄養的な特徴を学習する。		
	9				
8	10	食生活の安全と調理の基礎	調理及び食品衛生などについて科学的に理解する。		
9	11	現代の消費生活	社会の変化と共に変化した消費生活の特徴を理解する。		
10	12	これからの消費生活と環境	環境を守るために取り組むべきことと、持続可能な社会について学習する。		
11	13	住生活をつくる	安全で快適な住居を整えるための学習をする。		
12	14	被服の役割を考え、管理する。	被服の役割を学習することで、被服の選び方、正しい着方を身に付ける。被服を気持ちよく着るための管理を学習する。		
評価方法	レポート・スクーリング・試験を①知識・技能②思考・判断・表現③主体的に取り組む態度、の3観点で総合的に判断して評価をする。				

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
<b>家庭・フードデザイン</b>		<b>4</b>	<b>12</b>	<b>8</b>	<b>2</b>
目標	栄養、食品、調理、テーブルコーディネートに関する知識を習得させ、食生活を総合的にデザインするとともに、食育について学習させる。				
評価規準	栄養、食品、調理について科学的に理解する思考を持ち、日本料理、西洋料理、中国料理についての知識を身に付けている。また食事のテーマにふさわしいテーブルコーディネートを考える思考を持っている。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	食生活の変化と現状	大きく変化した食生活の現状を考える。		
2	2	炭水化物の働きと食品の特徴	炭水化物の働きを学習し、炭水化物を含む米、いも、小麦粉、砂糖の性質について学習する。		
3	3				
4	4	ビタミンの働きと食品の特徴	ビタミンの役割を学習しビタミンを含む食品について理解する。		
5	5	たんぱく質の働きと食品の特徴	たんぱく質の働きを学習し、たんぱく質を含む卵、牛乳、肉、魚、豆類の性質について学習する。		
6	6	たんぱく質の働きと食品の特徴	たんぱく質の働きを学習し、たんぱく質を含む卵、牛乳、肉、魚、豆類の性質について学習する。		
	7				
7	8	無機質の働きと食品の特徴	無機質の働きを学習し、無機質を含む食品について理解する。		
	9				
8	10	脂質の働きと食品の特徴	脂質の働きを学習し、食品について学習する。		
9	11	調理の基本①	食品のおいしさや調理の目的について学習する。		
10	12	調理の基本②	調理操作(煮る、蒸す等)を学習し、特徴を理解する。		
			調理操作(揚げる、焼く等)を学習し、特徴を理解する。		
11	13	様式別の献立と作法	和、洋、中華料理の特徴や作法を理解する。 テーブルコーディネートを学習する。		
12	14				
評価方法	定期試験70%・スクーリング評価10%、レポート20%。レポートは、それぞれ期限内に提出して、合格(ABC)の場合は評価点がつく。85点未満の場合は、不合格(再提出)とする。				



教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
<b>家庭・食文化</b>		<b>2</b>	<b>6</b>	<b>4</b>	<b>3</b>
目標	食文化の成り立ち、日本と世界の食文化に関する知識を修得させ、食文化の伝承と創造について考える。				
評価規準	日本の食文化の変遷について各時代ごとの特徴を知識として身に付け、日常の食事と地域に伝わる行事食や郷土料理について理解し、食文化の伝承の重要性、新しい食文化を創造する思考を身に付ける。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	食と文化	食文化について学習し、食のマナーやタブーについて学ぶ。		
	2				
2	3	日本の食文化の歴史	日本の食文化を過去から現代まで追い、その変化を学習する。		
	4				
3	5	日本の伝統料理と郷土料理	日本の伝統料理や郷土料理を学ぶことによって、調理の工夫や知恵を学ぶ。		
	6				
4	7	現代の食生活と未来の食文化	現代の食環境を学び、食文化が将来どのように変化、発展していくか理解する。		
	8				
5	9	西洋料理の食文化	西洋料理の特徴や、食事作法について学ぶ。		
6	10	中国、エスニック料理の食文化	中国料理の内容や日本が受けた影響を学習し、日本におけるエスニック料理について学習する。		
評価方法	定期試験70%・スクーリング評価10%、レポート20%。レポートは、それぞれ期限内に提出して、合格(ABC)の場合は評価点がつく。85点未満の場合は、不合格(再提出)とする。				
教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
<b>情報・社会と情報</b>		<b>2</b>	<b>6</b>	<b>4</b>	<b>2</b>
目標	情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報に関する科学的な見方や考え方を養う。学校設定科目である生活文化の伝承Aや伝承Bを実践的な課題として情報活用の力を養う。				
評価規準	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行うことができるか。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
1	1	オリエンテーション	情報室の使い方、ルールを理解する。タッチタイピングをマスターする。		
	2	自分の好きなものを紹介	文書処理ソフトウェア(WORD)を活用する(実習①)		
2	3	文章や画像の利用	情報モラルについて学ぶ。文章や画像の著作権について考えることができる。		
	4	校内ポスターを作ろう	文書処理ソフトウェア(WORD)を活用する(実習②)		
3	5	QRコードを作ろう	情報システムの発展と進歩 さまざまな場所で使われているQRコードの仕組みを理解し、実際にさまざまなQRコードを作る。		
	6		文書処理ソフトウェア(WORD)を活用する(実習③)		
4	7	情報化の影響と課題 写真加工に挑戦しよう	情報モラル学習 情報とメディアとその信憑性について学習し、メディアリテラシー能力を高める。		
	8		ペイントを活用する(実習)		
5・6	9	プログラミングに挑戦しよう	Scratchの基礎知識を学ぶ(実習)		
	10				
評価方法	定期試験70%・スクーリング評価10%・レポート20%。レポートは、それぞれ期限内に提出して、合格(ABC)の場合は評価点がつく。正答率80%未満の場合は、不合格(再提出)とする。				

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年		
<b>ベーシック・英語入門</b>		<b>2</b>	<b>6</b>	<b>8</b>	<b>1</b>		
目標	英語の基礎・基本となる中学校での学習範囲の文法事項について復習し、高校での英語の学習がスムーズに進められるように、個々の生徒の進度に合わせて学習する。						
評価規準	「英語コミュニケーションⅠ」の導入として基礎文法を理解し、英語に親しみをもち学習することができる。						
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考			
1	1	アルファベット、Be動詞、一般動詞及びその否定文、疑問文	アルファベットがきちんと書けるようにするとともにBe動詞、一般動詞の現在形/過去形及びその疑問文、否定文の作り方を理解する。				
	2						
2	3	現在進行形及び過去進行形	現在進行形及び過去進行形の意味と用法を習得する。				
	4						
3	5	未来形と助動詞	未来形の作り方、助動詞の意味と用法を理解する。				
	6						
4	7	受動態と現在完了	受動態と現在完了の作り方や意味について理解する。				
	8						
5	9	不定詞と動名詞	不定詞と動名詞の意味と用法を理解する。				
	10						
6	11	比較	比較の作り方、意味と用法を理解する。				
	12						
	13	総復習	総復習をする。				
評価方法	レポート・スクーリング・試験を①知識・技能②思考・判断・表現③主体的に取り組む態度、の3観点で総合的に判断して評価をする。						
教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年		
<b>郷土・奈良TIME</b>		<b>1</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>2</b>		
目標	知っているようで、案外その実像をわかっていない郷土の伝統や文化財・文化遺産・自然等が意外と多い。県内の全体像を俯瞰しながら、自分の興味に応じてテーマを1つにしぼり、現地調査や調べ学習によってレポートを作成することで理解を深める。						
評価規準	興味のあるテーマを1つ決めて、現地に足を運ぶとともに、各方面からテーマに関する情報を入手し、まとめる。また、調べもの学習を通じて学んだことや感想を、ていねいにまとめる。						
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考			
	1	オリエンテーション 奈良県の歴史 奈良の紹介①	一年間の学習内容を理解する。自分の住んでいる地域の歴史について関心を持つ。				
	2						
	3	奈良の紹介②	各教科の先生の話聞き、様々な視点から奈良を考える。				
	4						
	5	地元地域における祭りや伝統行事	地元地域における祭りや伝統行事の由緒を調べ、場合によっては足を運び、まとめる。				
	6						
1	5	調べ学習(レポートの作成)①	県内に存在するものの中で、興味のある分野(テーマ)について、インターネットを通じて情報を集める。				
1	6	調べ学習(レポートの作成)②	県内に存在するものの中で、興味のある分野(テーマ)について、インターネットを通じて情報を集める。				
1・2	7	学習のまとめ	これまで学んだことや調べたことをまとめて、発表もできるように整える。また、自分の感想を添える。				
評価方法	スクーリング評価10%・レポート90%。 レポート2種類は、それぞれ期限内(遅くとも最終期限)に提出して、合格の場合は評価点がつく。内容不十分場合は再提出とする。(その場合も最終期限までに合格することが評価の条件)						

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
探求・生活文化の伝承A(生活分野)		2	各回ごとにレポート提出	6	日2・平3
目標	日本の四季折々のくらしの知恵や生活等を伝承されてきた文化を通し、探究する。				
評価規準	毎回終了時に、学習活動を課題ノートに記録して提出する。 スクーリングごとのノート提出と課題研究のレポートを評価する。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
	1	紐とは何か	紐、縄、綱、糸とは何か知る		
	2				
	3	紐を作ってみる	紐の構成を知り作ってみる		
	4				
	5	紐を作ってみる	紐の構成を知り作ってみる		
	6				
	7	紐の歴史を知る	各時代での紐の存在意義を知る		
	8				
	9	水引の文化	水引の意味や由来を学習させる		
	10				
	11	生活への活用	現代の社会における紐や水引の生かし方を学習する。		
	12				
評価方法	各時間ごとの感想レポート、課題研究レポート、スクーリングでの活動を総合的に評価する。				
教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
探求・生活文化の伝承B(歴史分野)		2	各回ごとにレポート提出	6	日3・平4
目標	「順慶祭り」に参加して、地域社会との交流を広めると共に、身の周りにある美しい存在を歴史的遺産や伝承文化、建造物から学習し、郷土の文化についての発見と理解を広げる。				
評価規準	毎時間終了時に学習活動をレポートに記録して提出し、そのレポートを持って出席と認定する。そのレポートとまとめのレポートで、総合評価する。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
	1	筒井順慶について知る。	順慶祭りの由来を知り、これが伝承されている意味を知ること、郷土理解への関心を高める。		
	2				
	3	順慶祭り用の小道具(陣笠・わらじ等)、大道具(鎧・かぶと等)を制作する。	戦国時代の武将の衣装を製作することで、当時の風俗を知り、出陣行列への意欲を高める。		
	4				
	5				
	6	順慶祭りに参加し、武将の衣装で、出陣行列に加わる。	筒井町の伝統行事のメインに参加することで、地元の人々とふれあい、共に祭りを盛り上げる。		
	7	筒井順慶・戦国大名の家紋(美しい形)を知る。	中世以来の郷土の伝承や象徴に気づき、それが現代の美にどう生かされているかを知る。		
	8				
	9	筒井順慶と奈良県ゆかりの武将、全国ゆかりの武将について考える。	筒井順慶および地元の武将との係わりを知り、それが秀吉の天下統一にどんな影響を与えたかについて考える。		
	10				
	11				
	校外学習	順慶ゆかりの地、大和の美しい神社・仏閣を訪問する。	校外学習を通して地元の文化遺産にふれ、大和の美しい神社・仏閣を理解する。		
評価方法	各時間のレポートと出席数、まとめのレポートの内容を考慮して評価する。				

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
総合的な探究の時間・つどい①自然体験		1	1枚(最終回に配布)	2	日1・平1
目標	探究の見方・考え方を働かせ、体力づくり、学習方法の探究(検定チャレンジ)、自然体験に関わる総合的な学習を通して、自己の在り方、生き方を考えながら、適切で論理的な課題の発見と解決が出来るようにするための資質・能力を育成する。				
評価規準	毎回終了時に、学習活動を課題ノートに記録して提出する。各回ごとの課題ノート提出を持って出席を認定する。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
	1	植物の観察①	校内の木・花などを観察する。		
	2	植物の観察②	身近な草・花・葉などを観察する。		
	3	身近な生物から外来生物について考える	佐保川周辺の観察から、外来生物の問題を深く考える。		
	4	地域の自然	奈良盆地の自然環境について学び、地域の自然を理解する。		
	5	球根の植え方①	球根の特徴や植え方などを調べ、発見したこと、理解したことをまとめる。植物の特徴を詳しく観察することで、丁寧に物事を見ることを身につけさせる。		
1	6	球根の植え方②	植物が環境美化に役立っていることを理解し、探究を深める。		
評価方法	第6回目のスクーリング終了後、まとめレポートを配布し、期限内に提出することで、評価する。				
教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
総合的な探究の時間・つどい①検定チャレンジ		1	1枚(最終回に配布)	2	日1・平1
目標	探究の見方・考え方を働かせ、体力づくり、学習方法の探究(検定チャレンジ)、自然体験に関わる総合的な学習を通して、自己の在り方、生き方を考えながら、適切で論理的な課題の発見と解決が出来るようにするための資質・能力を育成する。				
評価規準	毎回終了時に、学習活動を課題ノートに記録して提出する。各回ごとの課題ノート提出を持って出席を認定する。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
	1	漢字検定4級	練習問題に取り組む		
	2	漢字検定3級	練習問題に取り組む		
	3	日本語検定語彙・言葉の意味	練習問題に取り組む		
	4	日本語検定敬語	練習問題に取り組む		
	5	実用英語検定3級	練習問題に取り組む		
1	6	実用英語検定準2級	練習問題に取り組む		
評価方法	第6回目のスクーリング終了後、まとめレポートを配布し、期限内に提出することで、評価する。				

教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
総合的な探究の時間・つどい①体力づくり		1	1枚(最終回に配布)	2	日1・平1
目標	探究の見方・考え方を働かせ、体力づくり、学習方法の探究(検定チャレンジ)、自然体験に関わる総合的な学習を通して、自己の在り方、生き方を考えながら、適切で論理的な課題の発見と解決が出来るようにするための資質・能力を育成する。				
評価規準	毎回終了時に、学習活動を課題ノートに記録して提出する。各回ごとの課題ノート提出を持って出席を認定する。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
	1	オリエンテーション・ストレッチ	年間の学習を知る。全身のストレッチを行い、体をほぐす。自己の体力の現状を知る。		
	2	ストレッチ・球技・筋力トレーニング①	継続してできるストレッチ、筋力トレーニングを行う。また、様々な球技を通して、体力の向上を図る。		
	3	ストレッチ・球技・筋力トレーニング②	継続してできるストレッチ、筋力トレーニングを行う。また、様々な球技を通して、体力の向上を図る。		
	4	ストレッチ・球技・筋力トレーニング③	継続してできるストレッチ、筋力トレーニングを行う。また、様々な球技を通して、体力の向上を図る。		
	5	ストレッチ・球技・筋力トレーニング④	継続してできるストレッチ、筋力トレーニングを行う。また、様々な球技を通して、体力の向上を図る。		
1	6	ストレッチ・球技・筋力トレーニング⑤	継続してできるストレッチ、筋力トレーニングを行う。また、様々な球技を通して、体力の向上を図る。		
評価方法	第6回目のスクーリング終了後、まとめレポートを配布し、期限内に提出することで、評価する。				
教科・科目		単位数	レポート規定数	スクーリング規定数	標準履修学年
総合的な探究の時間・つどい②進路学習		2	1枚(最終回に配布)	5	日2・平3
目標	生徒が卒業後の進路に向けての課題を見つけ、自ら考え、自己を見つめることを目標としている。進路講演会や進路ガイダンスを通して、自己の在り方、生き方を考えながら、卒業後の進路について各自の目標を設定し、それに向けての課題の発見と解決が出来るようにする資質・能力を育成する。				
評価規準	毎回終了時に、学習活動をレポートに記録して提出する。各回ごとのレポートの提出を持って出席を認定する。				
レポート	スクーリング	学習内容	学習目標	備考	
	1	つどいの学習を卒業後に生かすための準備をする。	つどいの目標と本年度の計画を確認する。		
	2・3	進路ガイダンス① 進学・就職全般の講話を聞き、自分の進路について考える。	進路意識を早期から持つ事の重要性を理解する。進路に向けての準備・手順・心構えを理解する。		
	4・5	自分の適性を見つめ、進路を考える。面接時のアピールポイントを整理する。	通信制高校に通う自己を見つめ、面接時の基本的な礼儀・作法を身につける。		
	6	先輩の話聞き、自分の高校生活・卒業後の進路を考える。	卒業生の話聞くことによって、高校卒業後の生き方を考える。		
	7・8	進路ガイダンス② 講演を通して、より具体的に自分の進路(進学・就職など)を考える。	分野別進路ガイダンスを聴くことによって、進路に向けての準備・手順・心構えを理解する。		
1	9	1年間の進路学習をふりかえり、卒業後の進路に向けての決意をレポートにまとめる。	生徒自らが考えた進路を生かして今後どのように生きていきたいかを考え、レポートとしてまとめる。		
評価方法	各時間ごとに感想レポートを記入。最終スクーリング時に配布される「まとめレポート」を記入し提出する。出席数とまとめレポートの内容を考慮して評価する。				